

報道関係各位

2023年10月17日

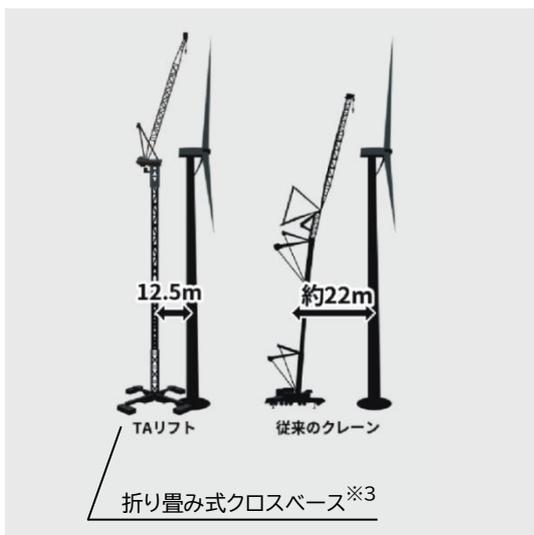
クレーン基礎工事不要、サイト面積を減少、サイト間移動の効率化 風車建設用タワークレーン レンタル開始

株式会社アクティオ

総合建設機械レンタルの株式会社アクティオ(本社:東京都中央区日本橋、代表取締役社長兼 COO:小沼直人、以下アクティオ)は、東光電気工事株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:山本隆洋)、株式会社 TA リフト(本社:東京都千代田区、取締役社長:岡野雅史)、株式会社北川鉄工所(本社:広島県府中市、代表取締役会長兼社長:北川祐治)の4社で、現在、風車建設用タワークレーン「JCW1250」を開発しており、2024年~2025年にレンタルを開始いたします。

従来のオールテレーンクレーン※¹の最小作業半径は約22m程度ですが、開発中のタワークレーン「JCW1250」は、12.5mでの作業半径が標準となるため、サイト面積※²を削減することができます。また、折り畳み式クロスベース※³を採用し、基礎工事が不要となることに加え、風車間移動の際にはクロスベースを分解せずに輸送できる構造となっております。最大吊能力は95トン、最大作業高さは130mとなり、これまでの国内最高風車よりも高く吊り上げが可能となります。

■従来クレーンとの比較図



※¹ オールテレーンクレーンは移動式クレーンの一種。移動式クレーンは原動機を内蔵し、不特定の場所に移動可能。

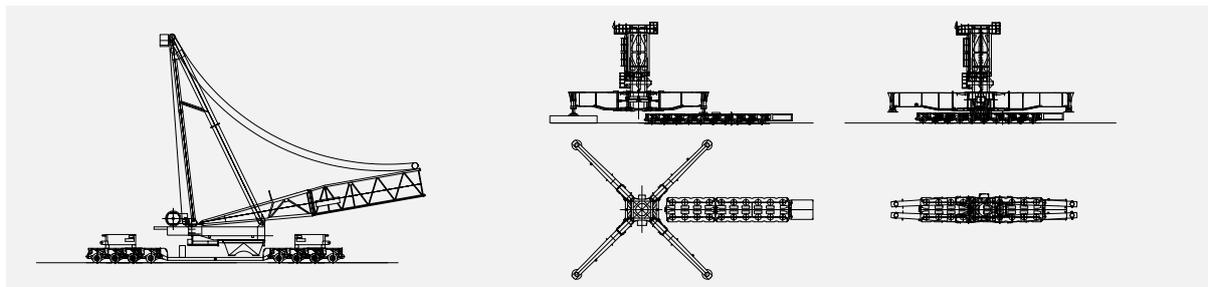
※² サイト面積とは風車の建設に必要な工事面積のこと。

※³ クロスベースとはクレーンのベース架台の名称。

■タワークレーン「JCW1250」特長

- ・12.5mでの作業が標準となるためサイト面積を削減することが可能
- ・クレーンの基礎工事が不要
- ・折り畳み式クロスベースを採用していることで、分解せずに輸送ができ、輸送車両の削減が可能
- ・最大作業高は 130m

■輸送事例



■アクティオが展開する“レンサルティング”とは



アクティオのコンセプトである「レンサルティング」は「レンタル」と「コンサルティング」を合わせた造語で、商標登録しています。会長の小沼光雄は著書の中で次のように紹介します。『従来、建機の世界では「つくる」「売る」という要素が主だったところに、「知恵やノウハウをプラスして貸す」という新たな価値提案をビジネスとして行ったわけです』（算数とハートの経営 2014年 幻冬舎）。現在の建設機械は、非常に高度化しており、せっかくの機能も、現場で最大限に活用することは難しくなっています。目的を果たすため、状況に応じてどの機能をどのように使うのか。アクティオは単に機械を貸すだけでなく、専門的なノウハウを持ってサポートします。建設機械

を熟知する専門レンタル会社だからこそ可能な、しかしレンタルの枠組みを飛び出した提案型のサービスがレンサルティング。時代とともに、その意義を拡大し、進化を続けています。

【アクティオ公式サイト】<https://www.aktio.co.jp/>

【アクティオ Facebook ページ】<https://www.facebook.com/aktio.jp/>

■本商品に関するお問い合わせ先

株式会社アクティオ クレーン事業部

TEL:03-6854-1423